

2009年3月25日
株式会社日立製作所

ミッドレンジディスクアレイ「AMS2000 シリーズ」が SPC Benchmark-1™において、世界最高値を樹立

株式会社日立製作所(執行役社長:古川 一夫/以下、日立)は、このたび、ミッドレンジ向けディスクアレイ「Hitachi Adaptable Modular Storage 2000 シリーズ」(日立 アダプタブル モジュラー ストレージ 2000 シリーズ/以下、AMS2000 シリーズ)が、ミッドレンジディスクアレイ製品での Storage Performance Council(ストレージ パフォーマンス カウンシル/以下、SPC)^(*1)のベンチマークテスト、SPC Benchmark-1™^(*2)において、データ入出力の処理速度と応答時間の世界最高値^(*3)を記録しました。

具体的には、「AMS2000 シリーズ」の最上位モデル「AMS2500」が、二重化された2つのコントローラで構成されたミッドレンジディスクアレイ製品において、世界最高の1秒あたりのデータ入出力処理速度、89,491 SPC-1 IOPS™^(*4)値と応答時間 8.98 ミリ秒を樹立しました。これにより、企業データが爆発的に増加する中で、多様化する業務アプリケーションに対しても、顧客のストレージシステムへの投資を最小限に抑えつつ、データ処理の高速化と性能を実現できるため、運用管理を簡素化するとともに、顧客の投資対効果の向上や TCO^(*5)の削減を実現します。

さらに、下位モデル「AMS2100」においても、入出力データを処理する際の1秒間あたりの価格性能値で、同等製品クラスでの世界最高値(\$5.95/SPC-1 IOPS)を記録しました。

*1 SPC:ストレージベンチマークの定義や標準化、促進を目的として、ストレージ主要ベンダによって設立された非営利団体。コンピュータ業界や顧客に客観的で検証可能な性能データを普及させることを推進している。

*2 SPC Benchmark-1:1秒間のトランザクション処理回数、ならびにシステム価格と性能関係を示すための SPC-1 IOPS あたりの価格など、ストレージ性能値を評価する標準的なベンチマークテスト

*3 :2009年3月23日時点

*4 IOPS: Input Output Per Second の略、1秒間あたりの入出力処理数

*5 TCO: Total Cost of Ownership の略

なお、本発表における SPC Benchmark-1 の結果の詳細情報については、以下の Web サイトに掲載されています。

URL : http://www.storageperformance.org/results/benchmark_results_spc1 (英文サイト)

■「AMS2000 シリーズ」について

顧客業務に重点を置き、顧客自身が複雑なシステム構成やその運用を意識しなくてもストレージ資産の最適な活用を実現するという統合ストレージソリューションコンセプト「Services Oriented Storage Solutions」に基づき、2008年10月に「AMS2000 シリーズ」全3機種をグローバル市場で、販売を開始しました。「AMS2000 シリーズ」は、複雑なシステム設計や煩雑な運用管理を大幅に低減するダイナミックロードバランスコントローラをミッドレンジクラスとしては世界で初めて搭

載するなど、システム管理者の使い易さを大幅に向上させたミッドレンジディスクアレイです。

■製品ホームページ

日立ストレージソリューション: <http://www.hitachi.co.jp/storage>

■他社商標注記

- ・ SPC Benchmark-1、SPC-1 IOPS は、Storage Performance Council の商標です。
- ・ 記載の会社名および製品名は、各社の商標もしくは登録商標です。

■取り扱い事業部・照会先

株式会社日立製作所 情報・通信グループ

RAID システム事業部 事業企画本部 製品企画部 【担当:阿部・加納】

〒250-0872 神奈川県小田原市中里 322-2

TEL:0465-49-1111(大代表) 内線 5777, 5419

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
